

## NY マーケットレポート (2014年10月22日)

NY 市場では、序盤に発表された9月の米消費者物価指数が市場予想を上回り、2ヵ月ぶりのプラスとなったことを受けて、ドルが主要通貨に対して上昇する動きとなった。また、FRB が当面低金利政策を継続するとの観測から、長期債利回りが上昇となり、ドル/円も堅調な動きとなった。その後は、引けにかけて米株価が下げ幅を拡大する動きとなったことから、円を買う動きが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な展開が続いた。また、ユーロは、ECB のストレステストで少なくとも11行が不合格になるとの報道が影響して、主要通貨に対して軟調な動きが続いた。

### 2014/10/22 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	106.96	107.12	106.83
EUR/JPY	135.99	136.20	135.94
GBP/JPY	171.99	172.69	171.78
AUD/JPY	93.91	94.09	93.59
EUR/USD	1.2716	1.2731	1.2706

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	107.02	106.82
EUR/JPY	136.02	135.51
GBP/JPY	172.02	171.08
AUD/JPY	94.12	93.79
EUR/USD	1.2728	1.2681

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15195.77	+391.49
ハンセン指数	23403.97	+315.39
上海総合	2326.55	-13.10
韓国総合指数	1936.97	+21.69
豪ASX200	5385.87	+60.84
インドSENSEX指数	26787.23	+211.58
シンガポールST指数	3202.74	+21.69

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6399.73	+27.40
仏CAC40	4105.09	+23.85
独DAX	8940.14	+53.18
ST欧州600	326.11	+2.37
西IBEX35指数	10249.90	+97.80
伊FTSE MIB指数	19266.25	+208.53
南ア 全株指数	48202.91	-327.56

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	107.15	107.38	106.90
EUR/JPY	135.45	135.95	135.43
GBP/JPY	171.94	172.57	171.65
AUD/JPY	94.05	94.57	93.98
NZD/JPY	84.95	85.49	84.83
EUR/USD	1.2642	1.2704	1.2637
AUD/USD	0.8777	0.8814	0.8765

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16461.32	-153.49
S&P500	1927.11	-14.17
NASDAQ	4382.85	-36.63
その他主要株	終値	前日比
トロント総合	14312.07	-235.64
ボルサ指数	43450.75	-179.83
ボバスパ指数	52411.03	-21.40

#### 10/23 経済指標スケジュール

09:30	【豪】3Q NAB企業信頼感指数
10:45	【中】10月HSBC製造業PMI
14:00	【シンガポール】9月消費者物価指数
15:45	【仏】10月景況感指数
15:45	【仏】10月生産アウトロック指数
15:45	【仏】10月企業景況感指数
16:00	～ 17:00
	【仏】【独】【欧】10月製造業PMI・非製造業PMI
17:00	【ノルウェー】政策金利発表
17:30	【英】9月小売売上高指数
17:30	【英】9月BBA住宅ローン承認件数
17:30	【英】10月CBI企業動向調査
20:00	【トルコ】政策金利発表
21:30	【米】新規失業保険申請件数
21:30	【米】失業保険継続受給者数
21:30	【米】9月シカゴ連銀全米活動指数
22:00	【米】8月住宅価格指数
23:00	【欧】10月消費者信頼感
23:00	【米】9月景気先行指標総合指数
00:00	【米】10月カンザスシティ連銀製造業活動指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1245.50	-6.20
NY 原油	80.52	-1.97
CMEコーン	353.00	-3.00
CBOT 大豆	962.75	-1.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.36%	0.36%
3年債	0.78%	0.77%
5年債	1.43%	1.42%
7年債	1.88%	1.88%
10年債	2.22%	2.22%
30年債	2.99%	3.00%

#### 10/23 主要会議・講演・その他予定

EU首脳会議～24日  
米30年TIPS債入札

## NY 市場レポート

21:00

ドル/円 106.96 ユーロ/円 135.84 ユーロ/ドル 1.2701

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6380.32	+7.99	ダウ INDEX FUTURE	16553	+6
仏 CAC40	4090.75	+9.51	S&P500 FUTURE	1935.60	-2.40
独 DAX	8910.20	+23.24	NASDAQ FUTURE	3969.20	-2.50

(出所:SBILM)

### 《企業決算》

米ボーイング

第3四半期 中核的1株利益は2.14ドル(予想1.97ドル)

通期の中核的1株利益見通しを上方修正

21:10

南アフリカは、2014年のGDP伸び率予想を2.7%から1.4%に引き下げ。

### 《ポイント》

南アフリカ共和国の今年の経済成長率は、2月時点の予想値の2.7%から1.4%に鈍化し、2009年のリセッション以降で最悪となる見通し。ストライキや電力不足で生産が抑制されたことが影響している。南ア財務省が発表した中期予算報告によると、来年の成長率は2.5%、2016年は2.8%をそれぞれ見込んでいる。財務省は「一時的とみられていた多くの要因が予想にしっかりと組み込まれてきた」と指摘。「これらには電力供給の逼迫(ひっばく)や労使間の緊張、技能不足、輸送上の制約などが含まれる」とした。

21:30

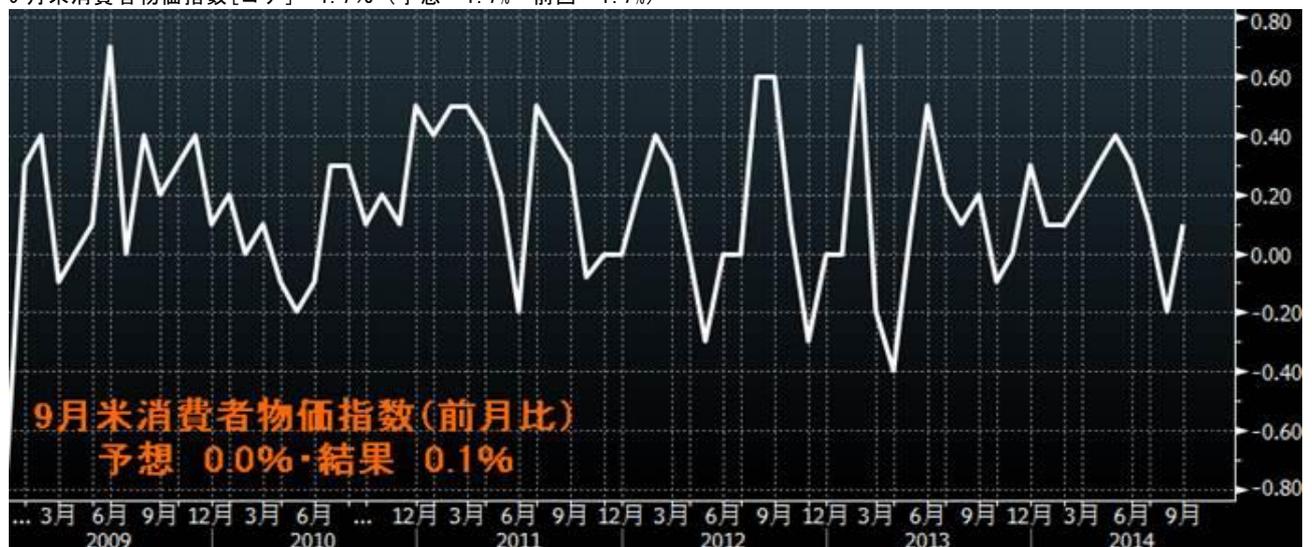
### 《経済指標の結果》

9月米消費者物価指数(前月比) 0.1%(予想0.0%・前回-0.2%)

9月米消費者物価指数[コア] 1.7%(予想0.2%・前回-0.0%)

9月米消費者物価指数(前年比) 1.7%(予想1.6%・前回1.7%)

9月米消費者物価指数[コア] 1.7%(予想1.7%・前回1.7%)



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

≪消費者物価指数≫

	9月	8月	7月	6月	5月	4月
全品目	0.1	-0.2	0.1	0.3	0.4	0.3
除く食品・エネルギー	0.1	0.0	0.1	0.1	0.3	0.2
エネルギー	-0.7	-2.6	-0.3	1.6	0.9	0.3
サービス	0.2	0.0	0.1	0.1	0.4	0.1
食品・飲料	0.3	0.3	0.3	0.0	0.4	0.4
居住費	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3	0.0



(出所: ネットダニアー)

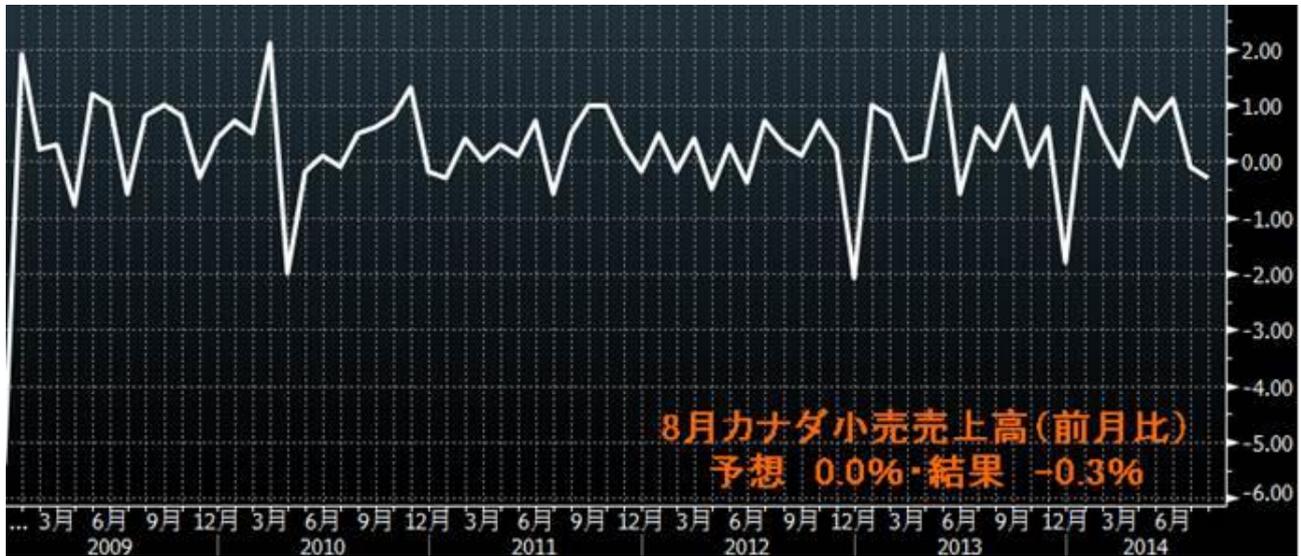
21 : 30

< 経済指標の結果 >

8月カナダ小売売上高(前月比) -0.3% (予想 0.0%・前回 -0.1%)

8月カナダ小売売上高[除自動車] -0.3% (予想 0.2%・前回 -0.5%)

前回発表の-0.6%から-0.5%に修正



(出所:ブルームバーグ)

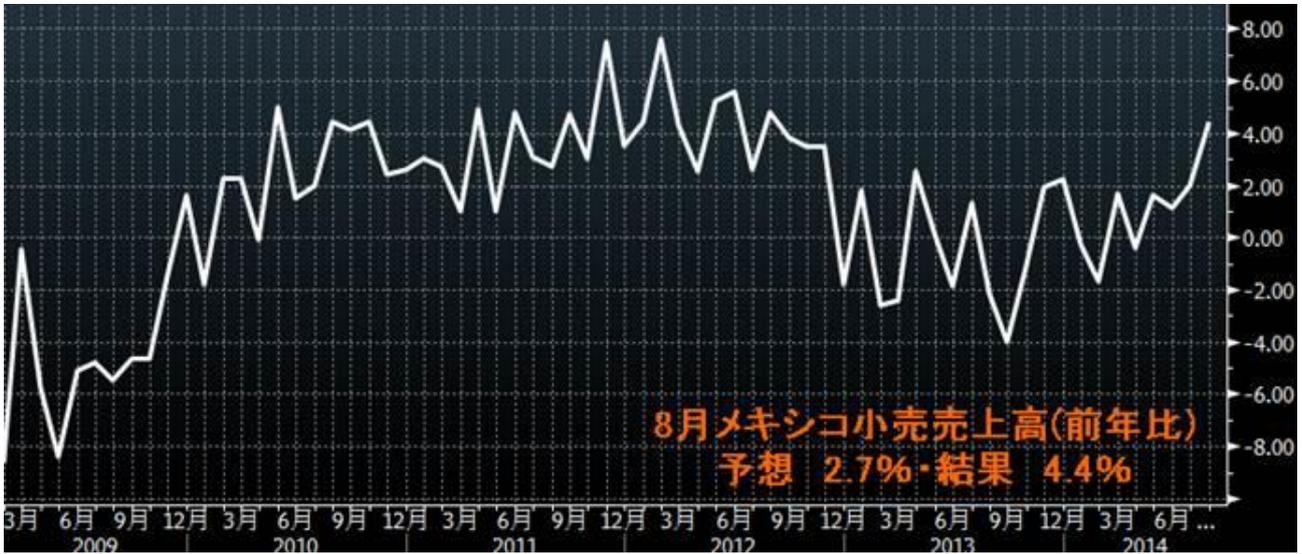


(出所:ネットダニアー)

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

8月メキシコ小売売上高(前年比) 4.4% (予想 2.7%・前回 2.0%)



(出所:ブルームバーグ)

◀ NY 外国為替市場 序盤 ▶

序盤の外国為替市場は、9月の米消費者物価指数が前月比で上昇したため、米経済の先行きに対する不安が後退し、円を売ってドルを買う動きが優勢となっている。

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16631.76	+16.95
ナスダック	4426.09	+6.61

(出所:SBILM)

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

カナダ政策金利発表 1.00% (予想 1.00%・前回 1.00%)



(出所:ブルームバーグ)

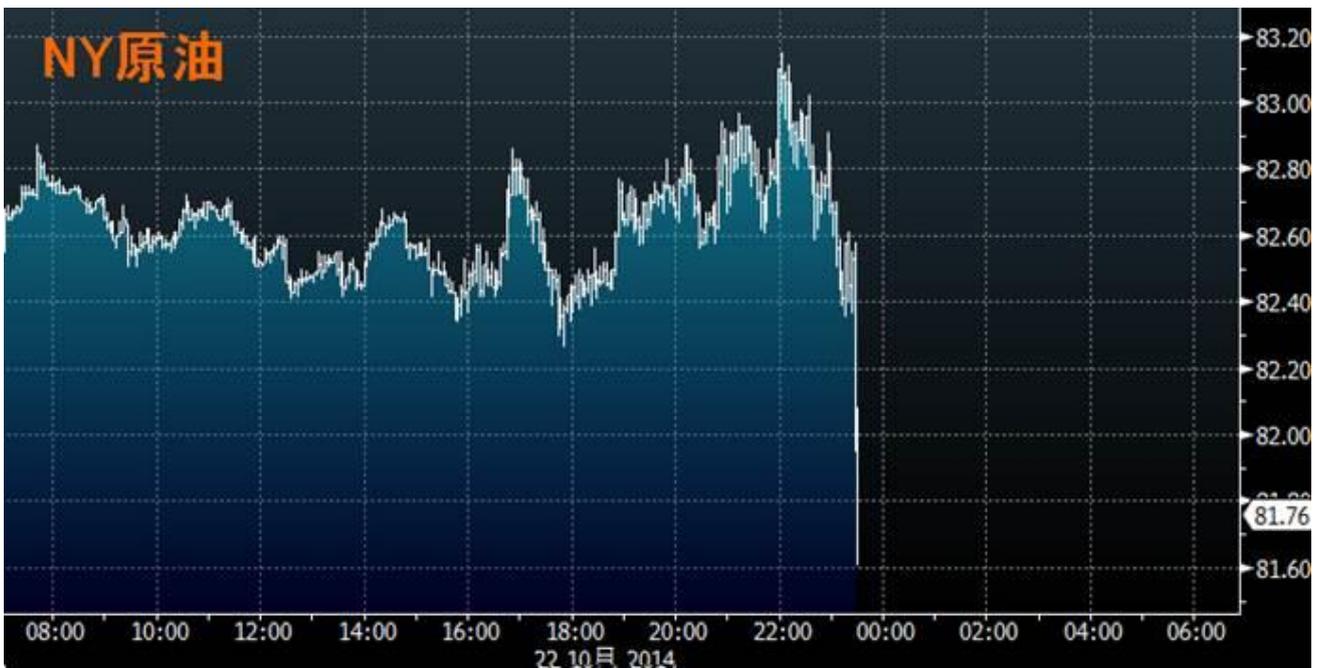


23 : 30

≪EIA 米週間在庫統計≫

原油在庫・・・711 万バレル増加  
ガソリン在庫・・・130 万バレル減少  
留出油在庫・・・105 万バレル増加

在庫統計で原油在庫が大幅に増加したことを受けて原油価格下落



23 : 35

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、米企業の業績期待を受けた買いが入る一方、ダウ平均が前日まで 3 営業日続伸となったことから、利益を確定する売りが出るなど、主要株価は序盤から売り買い交錯する展開が続いている。

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) MBA (全米抵当貸付銀行協会) の住宅ローン申請指数は、前週比+11.6%と 1 月以来の大幅上昇となった。借り入れコストの低下で、借り換え申請が大きな伸びを示したことが要因となった。

①構成指数の借り換え指数は+23.3%と 2012 年 1 月以来の大幅な伸びとなった。一方、購入指数は-4.6%となった。申請全体に占める借り換えの割合は 65% (前週 58.9%) と昨年 12 月半ば以来の高水準となった。

②30 年固定金利型の住宅ローン金利は、4.10% (前週 4.20%) と 4 週連続の低下となり、2013 年 5 月以来の低水準となった。15 年固定金利型も 3.28% (前週 3.41%) と低下した。

(2) 9 月の米消費者物価指数は、前月比+0.1%となり、2 ヶ月ぶりのプラスとなった。エネルギー価格が下落したものの、食品価格などが上昇となり、全体を押し上げた。消費段階の物価は前月の下落から緩やかな上昇基調へと戻った。

①変動が激しいエネルギーと食品を除いたコア指数は前月比+0.1%。前年同月比では、総合指数、コア指数とも+1.7%となった。

②品目別では、食品が+0.3%、肉類が+1.2%、果物・野菜が+0.1%、乳製品は+0.5%となった。そして、エネルギーは-0.7%、ガソリンが-1.0%、電力が-0.7%となった。また、住居費は+0.3%となった。

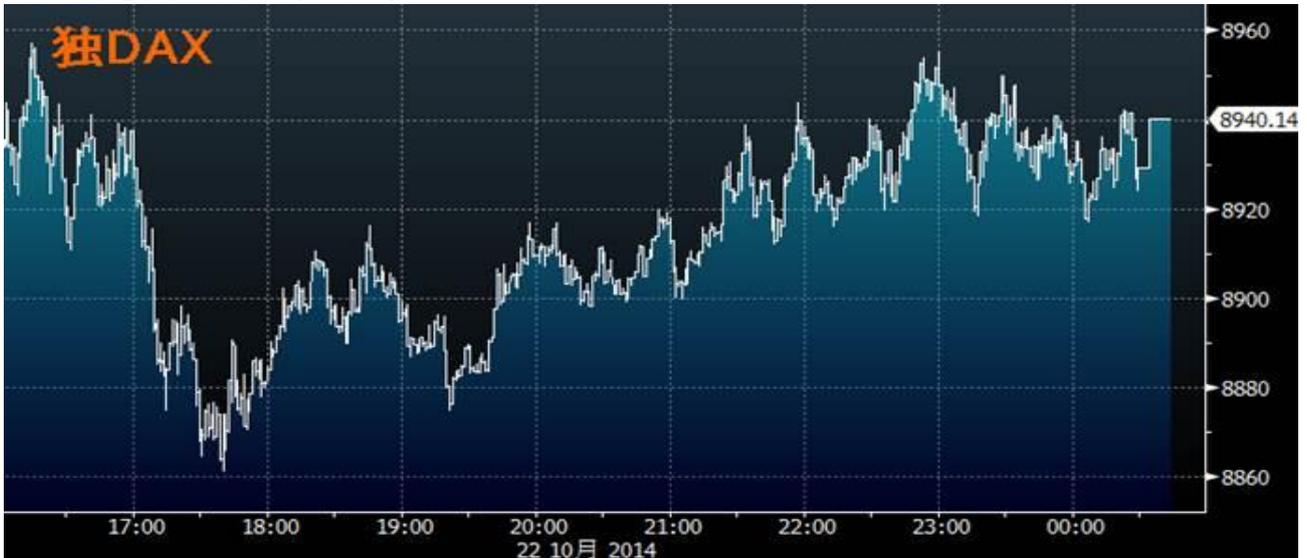
(3) カナダ中銀は、政策金利の翌日物金利を予想通り 1.00%に据え置いた。据え置きは 2010 年 9 月以来 33 会合連続となった。声明からはこれまで維持してきた中立的な政策スタンスに関する文言が削除された。また、過熱気味の住宅市場や家計債務について新たな懸念を表明しつつも、基調的なインフレ圧力は引き続き抑制されており、インフレ見通しに対するリスクはほぼ均衡しているとの見解を示した。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6399.73	+27.40
仏 CAC40	4105.09	+23.85
独 DAX	8940.14	+53.18
ストック欧州 600 指数	326.11	+2.37
ユーロファースト 300 指数	1308.73	+9.47
スペイン IBEX35 指数	10249.90	+97.80
イタリア FTSE MIB 指数	19266.25	+208.53
南ア アフリカ全株指数	48202.91	-327.56

(出所:SBILM)

#### 《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ECBが追加金融緩和に踏み切るとの期待を背景に、主要株価は堅調な動きとなった。また、最近の下落で値頃感が出た銘柄を物色する動きも見られた。



(出所:ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 16627.38 (+12.57)、 S&P500 1948.58 (+7.30)、 ナスダック 4426.64 (+7.16)

#### 《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、9月の米消費者物価指数が予想外に上昇したことで、米FRBが低金利政策を当面続けるとの観測が後退して売りが先行した。ただ、その後は長期債を中心に買い戻しも入り、もみ合いの展開が続いた。

午前の利回りは、30年債が2.99%（前日3.00%）、10年債が2.22%（2.23%）、7年債が1.89%（1.88%）、58年債が1.44%（1.43%）、3年債が0.79%（0.78%）、2年債が0.38%（0.36%）。

#### 《欧州のポイント》

①英中銀の10月のMPC（金融政策委員会）では、8、9月に続き2委員が0.25%の利上げを主張したものの、カーニー総裁ら残る7委員がユーロ圏経済低迷によるリスクが増しているとの見解を示し、据え置きを主張した。議事録によれば当局者らは、世界経済をめぐる悲観論が強まったとし、「ユーロ圏が勢いを失いつつあることを示す証拠が増えている」との認識を示した。大多数の委員は、これによって「英景気拡大の中期的な持続性に対するリスクが増した」と論じた。一方、利上げを主張した委員は、今までのところ英経済はユーロ圏からの「悪影響を免れている」との見方を示した。

②EUのユンケル次期欧州委員長は、欧州議会での演説で、域内の経済成長と雇用の押し上げに向け3000億ユーロを投資する計画を年末までに提示すると表明した。欧州議会はこの日の本会議でユンケル氏と欧州委員候補27人による新体制について一括の承認投票を行う予定。ユンケル氏は「きょう、われわれを支持してくれるのならば、雇用、成長、投資の総合的政策をクリスマスまでに提示する」と述べた。また、各国の財政赤字と公的債務の規模を制限するEU規則について、これを弱めることはないと言った。欧州委は今後財政ルールを見直し、12月半ばまでに報告書を提出する予定。フランスとイタリアは柔軟な運用を求めている。ユンケル氏は「ルールが変わることはない」としたうえで、「一定の柔軟性をもって運用することは可能だ」と述べた。

③ECBのストレステストにおいて、少なくとも6カ国から11行が失格になる見通しとの報道を受けて、ECB報道官は、ECBのストレステストで複数の銀行が失格になったとの一部報道について、26日の結果公表前の情報はすべて憶測に基づくものとの認識を示した。報道官は「10月26日の最終結果前に言及されたものは非常に憶測に基づいたもの」と述べた。個別行の憶測についてはコメントしないと述べた。

④スペインのデギンドス経済相は、ECBによる銀行ストレステストについて、スペインの銀行に良好な結果が出るとの見方を示した。経済相は「ECBが実施した審査でスペインの銀行が良い結果を得ることを確信してよい」と語った。金融部門の改革により国内の金融機関は健全性が高まったと述べた。

⑤ECBは資産購入プログラム実施3日目、スペインのカバード債を購入したと関係者が明らかにした。別の関係者らによれば、前日にはイタリア債とドイツ債を購入していた。関係者らによれば、20日に開始したプログラムの下でこれまでにフランスとポルトガルのカバード債も購入した。ECBは27日に、購入した額を公表する。

3:20

NY金は、中心限月が前日比6.20ドル安の1オンス=1245.50ドルで取引を終了した。

4:10

NY原油は、中心限月が前日比1.97ドル安の1バレル=80.52ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1245.50	-6.20
NY 原油	80.52	-1.97

(出所:SBILM)

《 NY 金市場 》

NY金は、ドルが主要通貨に対して上昇したため、ドルの代替資産とされる金を売る動きが優勢となった。また、9月の米消費者物価指数を受けてインフレが依然、抑制されているとの見方が広がり、インフレヘッジとしての需要も後退した。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、米石油在庫統計で原油在庫が市場予想を上回って大幅に増えたことでエネルギー需要の低迷懸念が強まり、売りが優勢となった。また、米国株の下落も投資家心理を冷やした。終値ベースでは、2012年6月以来、約2年4ヵ月ぶりの安値水準となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16461.32	-153.49	16653.89	16459.85
S&P500 種	1927.11	-14.17	1949.31	1926.83
ナスダック	4382.85	-36.63	4435.86	4381.28

(出所: SBILM)

#### 《米株式市場》

米株式市場は、米企業の業績期待を受けた買いが入る一方、ダウ平均が前日まで3営業日続伸となったことから、利益を確定する売りが出るなど、主要株価は序盤から売り買い交錯するもみ合いの展開が続いた。しかし、その後は軟調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤もみ合いが続いたものの、その後は下げ幅を拡大する動きとなり、終盤には一時前日比154ドル安まで下げる動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	107.15	107.38	106.90
EUR/JPY	135.45	135.95	135.43
GBP/JPY	171.94	172.57	171.65
AUD/JPY	94.05	94.57	93.98
NZD/JPY	84.95	85.49	84.83
EUR/USD	1.2642	1.2704	1.2637
AUD/USD	0.8777	0.8814	0.8765

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された9月の米消費者物価指数が市場湯お送を上回る結果となったことを受けて、ドルが主要通貨に対して上昇する動きとなった。しかし、米株価が下げ幅を拡大する動きとなったことから、円を買う動きが強まり、ドル円・クロス円は終盤にかけて軟調な展開が続いた。



(出所:ブルームバーグ)

提供:SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。